ARIB NEWS

一般社団法人 電波産業会
Association of Radio Industries and Businesses

No.1065 2017 年 3 月 6 日

ARIBの動き

ITU-R WP5D 第 26 回会合への参加

ITU-R WP5D 第 26 回会合が開催されましたので、その概要をお知らせします。

1 日 程：2017 年 2 月 14 日（火）～22 日（水）
2 場 所：ITU 本部（スイス・ジュネーブ）
3 出席者：45 か国、41 団体から約 264 名が参加
（日本は、総務省移動通信課 山内課長補佐を団長に 20 名が参加。 ARIB からは西岡参与以下 3 名が参加）
4 会合の主要結果：
今会合における主要な結果は以下のとおりです。

- IMT-2020 無線インタフェースへの要求条件については、全ての要求値を合意し、新報告案 M.[IMT-2020.TECH PERF REQ]として承認を求めて SG5 に上程しました。
- IMT-2020 無線インタフェースの評価に使用するパラメータについては、インドの Large Cell Low Mobility (LCLM) に関する条件も追加しました。Rural High Speed の試験環境に関しては日本から新たに 30GHz での検討も必要であるとの提案を議場で行い、レイアウトについて中国の 4GHz と合わせて継続検討としました。IMT-2020 無線インタフェースの評価方法・評価条件を規定する新報告草案（Preliminary Draft New Report) M.[IMT-2020.EVAL]を次回会合で完了させることを合意しました。
- IMT-2020 無線インタフェースの提案方法を規定する M.[IMT-2020.SUBMISSION]については、日韓共同寄与文書を基に検討し、新報告草案のステータスとしました。
- IMT-2020 無線インタフェースの開発 Process を規定する IMT-2020/2 文書の改訂については、Step 2 の文章を中心に最終化を行い、改訂案を完成しました。本改訂は WP5D Plenary で承認され、Web Page に掲載されます。
- IMT-Advanced 詳細無線インタフェース勧告 ITU-R M.2012 の第 3 版に向けた改訂については、LTE-Advanced の GCS Proponent からの入力を確認し、作業文書を作成しました。また、IMT-2000 詳細無線インタフェース勧告 ITU-R M.1457 は第 14 版に向けた改訂に関するスケジュール（IMT-2000/7 文書）および外部団体へのリエゾン文書を作成し、WP5D Plenary で承認しました。
- IMT-2020/2 の追補第 2 版の完成を伝えるリエゾン文書を外部団体（5GMF, 5GIC, 3GPP, ARIB 等）へ送付することとしました。追補第 2 版には、外部評価団体について、詳細（ITU メンバ、標準化団体、その他独立評価機関）および ITU-R への早期登録を推奨する文書が追加されました。10 月に開催される IMT-2020 のワークショップの情報は、追補第 2 版への添付として情報提供することとしました。
- インダストリーセクターによる地上系 IMT の使用に関する新報告

M.[IMT.BY.INDUSTRIES] において、鉄道と ITS については、検討権限を有する WP5A へリエゾン文書を発出することを SWG レベルで合意しましたが、クロージングプレナリで UAE が時期尚早であるとしたため、リエゾン文書はキャリーフォワード扱いになりました。

・ WRC-19 議題 1.13 の周波数ニーズに関する TG5/1 へのリエゾン文書案を最終化しました。周波数ニーズ特定の方法として、2 種類の手法（アプリケーション、技術性能）と複数の仮定に基づき 24.25－86GHz の周波数における IMT-2020 の所要帯域幅（一例を下表に示します。）を合意しました。また、各国からの周波数需要に関する情報をとりまとめ、上記に基づく算出結果と共に TG5/1 へ情報提供することとしました。

Examples of spectrum needs for frequency ranges between 24.25 and 86 GHz

	Examples	Associated conditions for different examples (For details, please see the corresponding sections in the Annex A)	Spectrum needs in total (GHz)	Spectrum needs (GHz) per range
Application-based approach	1	Overcrowded, Dense urban and Urban areas	18.7	3.3 (24.25-33.4 GHz range) 6.1 (37-52.6 GHz range) 9.3 (66-86 GHz range)
		Dense urban and Urban areas	11.4	2.0 (24.25-33.4 GHz range) 3.7 (37-52.6 GHz range) 5.7 (66-86 GHz range)
	2	Highly crowded area	3.7	0.67 (24.25-33.4 GHz range) 1.2 (37-52.6 GHz range) 1.9 (66-86 GHz range)
		Crowded area	1.8	0.33 (24.25-33.4 GHz range) 0.61 (37-52.6 GHz range) 0.93 (66-86 GHz range)

・ WRC-19 議題 1.13 の共存検討について、IMT 側パラメータに関する TG5/1 へのリエゾン文書案を最終化しました。システム関係のパラメータ数値は、3GPP からの情報提供を基に検討し合意しました。導入パラメータ（運用上の典型値）については、展開環境として「郊外部・ホットスポット」「都市部・ホットスポット」「屋内」を基本環境として合意し、それぞれの環境に相当する無線局密度、無線局諸元（アンテナ高、送信電

力など）などを合意しました。

・ 2018 年 10 月開催予定の WP5D 第 31 回会合は日本が招致予定であることが記載されました。

・ WP5D と ITU-T SG13 の間で IMT-2020 に関するこれまでの検討結果および今後の Work plan の共有を行いました。

5 次回会合スケジュール：

次回の第 27 回会合は、2017 年 6 月 13 日～21 日に、カナダ（ナイアガラフォールズ）で開催予定です。

ITU-R WP5D 第 26 回会合の様子

ARIB・NICT・TTC 共催イベントを開催
「oneM2M ショーケース２」

3 月 2 日（木）に ARIB・NICT・TTC 共催イベント「oneM2M ショーケース２」を開催しました。

1　イベントの概要

・ 名称 「oneM2M ショーケース2」

・ 主催　一般社団法人電波産業会（ARIB）、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）、一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）

・ 日時　2017 年 3 月 2 日（木）12:00 から 17:30 まで

・ 場所　フクラシア品川クリスタルスクエア 2F

・ 参加者　約 260 名

2　開催状況

oneM2M は IoT/M2M の多様なサービス/アプリケーションをサポートする共通サービスプラットフォームを提供するグローバル標準仕様であり、多様なデバイスからの情報収集や当該デバイスの制御が容易となり、新たな IoT/M2M サービスが短期間・低コストで実現できるようになることが期待されています。

oneM2M では、2016 年 8 月に標準仕様リリース 2 を制定しました。 このリリース 2 仕様は、他の IoT 技術とのインターワークやセマンティックス等を含め、IoT プラットフォームを

構築するのに十分な機能を網羅した仕様セットとなっており、IoT の様々なサービス/アプリケーションをサポートし、新しいビジネスを創造するために必要な機能を備えています。

本イベントは、2015 年 5 月に日本で初めて開催された oneM2M ショーケースイベントの第二弾と位置づけ、oneM2M 仕様ベースの機器出展により oneM2M 仕様が充実しその実装が大きく進捗していることを実感していただくと共に、講演会を併催し、IoT の世界を実現する産学官の取り組みと oneM2M への期待などをご紹介いただきました。

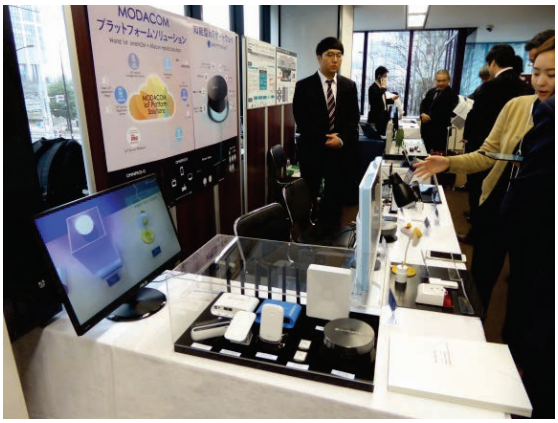
当初の想定を超える受講申込みを受け、参加者数約 260 名の盛況なイベントとなりました。

講演の様子

閉会挨拶（ARIB 松井専務理事）

（＊）講演項目：開会挨拶：TTC 前田専務理事、基調講演：総務省情報通信国際政策局　中西通信規格課長、北陸先端科学技術大学院大学　丹教授、招待講演：NICT 板谷氏、IIC 吉野氏
技術講演：oneM2M Steering Committee 副議長　山崎氏（KDDI）、ARIB oneM2M 対応 WG 副主査　内田氏（クアルコムジャパン）、デモ展示各社から展示概要説明。閉会挨拶：ARIB 松井専務理事。（司会：山崎氏（日本電信電話））

（＊）デモ展示：日本電信電話、KDDI、HPE（Hewlett Packard Enterprise）、MODACOM、日立製作所、NTT ドコモ、AT 4Wireless/東陽テクニカ



デモ展示の様子

第 148 回電波利用懇話会を開催
「79GHz 帯を利用した高分解能ミリ波レーダ技術の紹介」

3 月 3 日（金）に、第 148 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、ITS 情報通信システム推進会議ミリ波 WG で活動しておられるパナソニック株式会社の中川洋一様を講師にお迎えし、「79GHz 帯を利用した高分解能ミリ波レーダ技術の紹介」と題してご講演いただきました。ご講演では、79GHz レーダの国際標準化動向や特徴と性能などの他、各種の実証実験結果についても分かりやすくご説明いただきました。

当日は、80 名の会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、車載用レーダの実用化時期、車と歩行者の分離に失敗する状況等について、活発な質疑応答が行われました。

第 148 回電波利用懇話会の様子と講師の中川様

今週の ARIB 内会合（3 月 6 日～3 月 10 日）

3 月 8 日（水）：第 237 回業務委員会
3 月 8 日（水）：第 25 回調査統計小委員会幹事会

今週の国際会合（3 月 6 日～3 月 10 日）

3 月 9 日（木）：第 2 回日ニカラグア共同作業部会（ニカラグア・マナグア）

ARIB
Association of Radio Industries and Businesses
ARIB NEWS 発行所
一般社団法人　電波産業会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590　FAX 03-3592-1103
http://www.arib.or.jp　E-mail arib_news@arib.or.jp